

テーマ ～親の品格～



講師 **坂東 眞理子** 氏

『女性の品格』著者の坂東さんが講演します。

日時 平成27年10月12日（月・祝日）
午後2時開演

会場 甲府市総合市民会館 芸術ホール

入場料 無料（要申込）
※申込は終了しました

主催 甲府市教育委員会（生涯学習文化課）
（TEL）055-223-7323

★坂東眞理子氏プロフィール★

富山県生まれ。1969年、東京大学を卒業し、総理府に入省。青少年対策本部、婦人問題担当室、老人対策室、内閣総理大臣官房参事官、統計局消費統計課長、男女共同参画室長などを歴任。1995年、埼玉県副知事。1998年、在豪州ブリスベン総領事。2001年、内閣府男女共同参画局長に就任。

2004年、昭和女子大学大学院教授、2007年、昭和女子大学学長に就任、2014年から理事長を兼務し、現在に至る。

「甲府きょういくの日コンサート～子どもたちに歌い継ぐ～」

甲府きょういくの日（教育・共育・郷育）推進事業の一環として、子どもたちのコンサートを開催します。曲目は、歌い継がせていきたい童謡や唱歌、クリスマスソングを予定しています。

12月6日（日）14：00～（開場 13：30）

甲府市総合市民会館 芸術ホール

定員 500人〈全席自由・入場無料〉

2019年こうふ開府500年を迎えます

いのちの授業

いじめ、自殺、虐待、少年犯罪、家庭崩壊のニュースが連日報道されています。

いつしか私たちは「いのち」が粗末にされることを日常の出来事として受け流しているようにも感じます。本当にこのままでよいのでしょうか……。

「いのち」が一番大切なものです。「いのち」の大切さと「家族」の絆を子どもたちに、後から来る人たちに語り継ぐ小さな実践が必要です。

「いのちの授業」は小児ガンで死んでいく少女と家族の姿を通じて、「生」と「死」に向かい合います。そして、「いのち」とは何か、生きる意味を自問自答し、「いのち」の輝きと「家族」の絆をバトンタッチします。

家庭、学校、行政が手を携えて「いのち」を大切にできる地域社会を目指しての取り組みです。



NPO法人「いのちをバトンタッチする会」の代表である鈴木中人氏をお迎えし、自分の愛娘を小児ガンでなくした経験をもとに、いのちの尊さ、家族の絆の大切さを再認識していただく貴重なお話を「郷育フォーラム2015」の協賛事業として各地で開催させていただきます。

「いのちの授業」開催予定

- ①山梨大学附属中学校 10月16日（金）
- ②昭和町立押原小学校 10月29日（木）
- ③甲斐市立敷島中学校 11月24日（火）

いのちの授業実行委員会

日本では、年間自殺者が約3万人。また、学校では「いじめ」が後を絶ちません。「いじめ」は学校だけでなく、社会でも行われているのではないかと思います。自分のいのちを大切にできないことや自分のいのちは大切にすけれども、他人のいのちは大切にしないことは多くの悲しみを生み出します。大人がいのちを大切にしていないのに子どもたちに「いのち」は「尊いもの」と大人が胸を張って言うのでしょうか。

私たちはこの地域から少しでも悲しい出来事が起こらないように、いのちと向き合う機会を設け、受講いただいた方々の心に訴えるが活動を行っています。

いのちの授業実行委員会は、2007年に甲府青年会議所のメンバー有志により結成され、毎年、甲府市・甲斐市・中央市・昭和町の小中学校を中心に「いのちの授業」を開催しております。昨年までの8年間で9,700名以上の方に「いのちの授業」を受講いただきました。

これからも私たちが住むこの地域にいのちの大切さを訴えかける活動を行ってまいりますのでご支援よろしくお願いたします。

事業紹介 メインフォーラム 甲府市小中学校PTA連合会全体研修会
講演テーマ 3つの『つながる』
『つながる』は人間の幸せ戦略



講師 長谷川 幸介氏
茨城大学 社会連携センター 准教授

ゲストスピーカー
外岡 仁氏
元茨城大学 講師
「江戸しぐさ」- 江戸文化研究会 主宰
茨城大学協働のまちづくり研究会
代表世話人

開催日程

日時 平成27年10月10日(土)
日程 12時30分 受付開始
13時00分 開会
13時30分 講演会
15時30分 終了(予定)

一般来場は100名様限定となります。
お早目のご来場をお待ちしております。



団体紹介 甲府市小中学校PTA連合会

甲府市内のPTAが集まり、さまざまな情報交換をする中で、一つの組織として行政に対し働きかけて、子どもの教育環境を整備していこうという見地から昭和23年9月甲府市公立小中学校PTA連合会として結成されました。現在、甲府市小中学校PTA連合会(略称・市P連)は、甲府市内の38校の小中学校PTAで構成されています。

今年度のスローガンは『つながる』です。「つながる」と聞いてどんな事を思い浮かべますか? ネットでつながる。電話がつながる。道がつながる。等々いろいろあると思います。そんな中でいつの時代にも大切なものは「人」と「人」のつながりではないでしょうか。今一度「家庭・学校・地域」の中での人と人のつながりを考えてみませんか。

私たちの周りには支えてくれる人がいます。助けてくれる人がいます。見守ってくれる人がいます。『私たちは一人じゃない』という思いを大切に。そして子どもたちのために人と人とのつながりを大切にして皆で考えていけるPTA活動を実践していきたいと思っています。

市P連の活動は、各学校のPTAからの出向の方々によって成り立っている組織です。各学校との連携を密に皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。


問合せ先

甲府市小中学校PTA連合会

〒400-0043 甲府市国母4丁目15-19
電話 055-222-3866 FAX 055-222-3889
Eメール info@ptakofu.org

第3回親守詩山梨県大会

親守詩とは、子どもが自分を育ててくれた人を思っ「五・七・五」のリズムにのせてつくる詩です。その相手（両親や祖父母）が七・七のリズムの返歌をするという言葉のキャッチボールによる親子合作の連歌部門もあります。例えば、第2回大会では、以下の作品が上位入賞を果たしました。

<p>【山梨県知事賞】</p> <p>(子)おかあさん たいじょうびわってくれて ありがとう</p> <p>(親) おやこになれた きねんびだもの</p>		<p>【山梨県議会議長賞】</p> <p>(子)オレ9才 まだ甘えたい かあさんに (親)いつでもOK たくさん話そう</p>
<p>【山梨県教育委員会教育長賞】</p> <p>(子)思うんだ 産まれてほんと よかったと (親)選んでくれて ほんと幸せ</p>		

第1回も1000を超えるたくさんの作品応募がありました。そして県知事賞は以下の作品でした

■第1回親守詩山梨県大会山梨県知事賞

(子) おかえりと ほっとするんだ 母の声 (親) 君のただいま 我が家の灯り
～親子の絆が日本を再生する!～

日本の子どもの夢ランキング「母のようになりたい」「父のようになりたい」は第何位か?キラキラネームはいいの?悪いの?子育て四訓「乳児はしっかり肌を離すな」「幼児は肌を離せ手を離すな」と二つは?今こそ家族!今だから家族!日本の家庭教育・青少年教育をリードされてきた高橋史朗先生が明かす「とっておきの親子の話」を聴きにいらっしやいませんか?

第3回親守詩山梨県大会は、入賞された作品とそこご家族を表彰させていただく機会です。また、青少年教育の専門家をお招きして、上記のテーマで記念講演をいただきます。



講師紹介: 早稲田大学大学院修了後、スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員。臨時教育審議会(政府委嘱)専門委員、国際学校研究委員会(文部省委嘱)委員を経て、現在、明星大学教授。<兼任>元埼玉県教育委員長、「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議「家族・地域の再生」分科会委員(政府委嘱)、日本家庭教育学会常任理事

団体紹介

親守詩山梨県大会実行委員会

家族にかかわる問題が、最近顕在化しています。日本人が昔から継承してきた伝統的な子育ての文化が失われ、日本の家庭教育のよき姿が揺らいできたのではないかと考えています。親守詩は、その家庭の教育力を回復・向上させる力を持っていると考え、親守詩づくりを推進しているのが、私ども親守詩山梨県大会実行委員会です。平成18年の改正教育基本法では「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有する」と第10条に明文化されました。その理念を受け、日本の家族を応援し、「子どもたちの心の教育」と「家庭の教育力の向上」の推進に貢献したいと考えて活動しています。

大会HPは
こちら



ふるさと山梨へ響け！マーチングバンド

園児の日頃の練習の成果を多くの方に披露することにより、子供達の活力と成長につながるものと思います。又、マーチングバンドで見せる規律正しい行動と息の合った演奏を披露し、他の園の原動力となって頂きたいと思います。



団体紹介

山梨県私立幼稚園PTA連合会

山梨県私立幼稚園PTA連合会は、山梨県にある私立幼稚園の園児の保護者と教職員及び賛助会員により構成されています。

当連合会は、幼児の幸福増進に寄与することを目的に、相互の親睦を図りながら「子供たちにとってよりよい環境をつくること」「親子のふれあいのきっかけづくり」などを主テーマに活動を行っております。

又、今後は小学校以上のPTAとの交流、地域社会との交流に積極的に足を踏み入れ、できる限り多くの皆さんと意見交換や親睦を深め、保護者と先生方並びに地域の大人たちが一体となって教育の輪を拡げられるような活動を行っていきたくと考えております。

わくわくふれあいランド

友達や家族と楽しく遊べる「体験型・活動型」のふれあいゲーム、学習ゲームのコーナーです。

わくわくふれあいランド

豆つまみ、お手玉投げ、紙ちぎりなどで楽しめます。
頭を使って賢くなるペーパーチャレンジゲーム、だれとでも巾
良く遊べる「かるたゲーム」や「囲碁ゲーム」があります。

- (1) わくわくドキドキチャレンジランキング
(昔の遊びや楽しいゲームで得点を競います)
- (2) 楽しくて賢くなる!ペーパーチャレンジ
(医学界でも効果が実証された楽しいゲーム)
- (3) 日本の伝統文化 五色百人一首で遊ぼう!
- (4) 五色の俳句かるたもあるよ
- (5) 友達と!親子で!おじいちゃんやおばあちゃんと!
みんなで熱中「ふれあい囲碁」をしよう。



★全部のコーナーをまわるとすてきな参加賞がもらえるよ!!★

団体紹介 NPO法人TOSS山梨子どもわくわくネット

「地域の教育の発展に尽くしたい!」「山梨県内の子どもたちのためによりよい共育・教育・郷育をつ
くっていききたい、という趣旨で活動しているのが、私たち「NPO TOSS山梨子どもわくわくネット」
です。私たちは、山梨県内で、主に次のような活動をしています。

- (1) **社会貢献活動**……………五色百人一首山梨県大会を12年続けてきました。武田神社で毎年開
催しています(今年も11月7日に行います)。のべ1,600人の子どもたちが日本の伝統文化であ
る百人一首に触れ、同じ県内の子どもたちと大会を通じて交流を深めてきました。
また「子どもゆめ基金」等の助成金を活用して、「わくわく子ども教室」「子どもTOSSデー」と
いう名称でチャレンジや学習ゲーム、わくわく理科教室などを開催し、地域の子どもの余
暇支援活動を行っています。
- (2) **まちづくり教育**……………自分の街を好きになり、地域に誇りを持ち、ふるさとを大切にでき
る人づくりを目指しています。具体的には県内各地域の名所・史跡、食の名物などを体験し、
「子ども観光大使」という名称で「ふるさとの良さ」を知り、発信していただくイベントを開催
しています。
- (3) **郵便教育**……………日本郵便と協力して、子どもたちの「伝える力」「かかわり合う力」を育てる
ことを目的に「手紙やはがきで心を通い合わせる活動」を支援し、「絵手紙教室」等で子どもた
ちの「コミュニケーション能力」がよりよく伸びていくように支援する活動をしています。
- (4) **親守詩の推進**……………親子の絆を元気にする親守詩の普及に取り組んでいます。

My箸づくり 自分で作った箸でご飯を食べよう フェアトレードを広めよう

My箸作り自分で作ったお箸でご飯を食べよう

私たちは、夢甲斐塾のMy箸づくりのチームです。色々なイベントに箸づくりで参加させてもらった小学校の親子教室にて箸づくり教室を行ったりしています。

地元の竹を使った世界にたった一つしかない自分の端を子供達に削って作って貰う活動をしています。

現代の子供達は、自分で使う道具は、全て買い与えられていますそれが当たり前のことなのですが、しかし子供達に改めて自分で自分が使う道具を作る事が出来ると言う事を理解してもらい、物を大切にする心そして自分で作った箸で食べるご飯の美味しさを解ってもらいたいと考えて活動をしています。



境川産の孟宗竹を使って、ナイフで自分で箸を削って作ってもらいます。参加は6歳から受け付けますが、6歳児はナイフを使う工程を少なくさせていただきます。時間は、フォーラム終了の1時間前まで受付させていただきます。

フェアトレードを広めよう

バングラデシュ・ネパール・タイ・インド等のフェアトレードの意義と雑貨を紹介しています。

フェアトレードとは身近な海外協力です。伝統的な手工芸品を作り仕事を得ることで自立を目指しています。『お買い物とはどんな社会に一票を投じるか。。。』ということも 日本の社会を見つめ直すよい機会だと思えます。主に県内のイベントに出店して紹介しています。

しかしフェアトレードの支援活動を進めているNGOは雑貨の販売だけでは活動費が足りず寄付金がないと成り立ちません。

そのため必要経費を除いた売上の中からNGOに活動資金を寄付しています。



手作り雑貨・洋服等の販売 / チラシ・パンフレットの配布

夢甲斐塾大餅つき大会 甲斐の国 歴史クイズラリー 食べ物編

夢甲斐塾大餅つき大会

餅つき体験ができ、つきたてのお餅がその場で食べられるこのイベントは毎年大行列ができるほどです。

みなさんも一緒にお餅をついてみませんか？

きなこやごまのお餅をご用意して、みなさんのお越しをお待ちしております。



「甲斐の国 歴史クイズラリー 食べ物編」

やまなしの歴史や食べ物のこと、どれだけ知っていますか？

やまなしのことを知って、やまなしを好きになるクイズラリー。

10問まわってきたら、ステキな山梨産の宝石プレゼント！

これであなたも「やまなしハカセ」になれるかも？

遊び方と解答用紙は、会場マップをみてください。

団体紹介 夢甲斐塾

夢甲斐塾とは

夢甲斐塾は、2001年に「山梨百年の計を考えれば“出る杭を打つ”ような県民性を克服しなければならない。これからは山梨の若い人達が世界を舞台にして果敢に“出る杭”になっていかなければならない。」という天野建山梨県知事の想いの元、次世代リーダーの育成を目的として県の事業としてスタートしました。三年後の2004年からは県の事業から離れ、自主運営組織として活動しています。その研修内容は「自修自得」自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら実践することを基本としています。

塾長紹介 上甲 晃(じょうこう あきら)

上甲晃塾長の経歴

昭和16年大阪市に生まれる

昭和40年京都大学卒業後、松下電器産業株式会社に入社

※広報、電子レンジ販売などを担当

昭和56年財団法人松下政経塾に出向

※理事・塾頭、常務理事・副塾長を歴任

平成8年4月松下電器産業株式会社を退職

平成8年5月(有)志ネットワーク社を設立

平成9年4月「青年塾」を創設

平成13年9月山梨県が主催する「21世紀夢甲斐塾」塾長に就任

